



## 板橋コミュニティ・スクール(iCS)について

令和2年度より、板橋区では区内の全小・中学校でコミュニティスクールを実施しています。板橋区コミュニティ・スクール(iCS)とは、学校・家庭・地域が一体となって、よりよい教育の実現に取り組むため、法に基づくコミュニティスクール委員会と、学校地域本部を「両輪・協働」の関係で運営し、教育活動を支援する仕組みです。

## 令和8年度の委員の皆様です

### 1年間どうぞよろしく申し上げます！

- 前川 光子 様 (大谷口北町北親会会長)
  - 片岡 和憲 様 (大谷口宮ノ下町会会長)
  - 大邑 涼 様 (保護司)
  - 小俣 睦 様 (民生児童委員)
  - 石橋 臣友 様 (大谷口小寺子屋代表)
  - 三浦 彩 様 (大谷口小あいキッズ施設長)
  - 佐藤 香織 様 (iCS委員長・学校支援地域本部)
  - 伊東 修平 様 (PTA会長・学校地域支援本部)
  - 菅沼 亜弥子様 (大谷口保育園園長)
  - 宮澤 竜太郎 (大谷口小学校校長)
  - 渡辺 賢志 (大谷口小学校副校長)
- (○：委員長)

## コミュニティ・スクール委員会(iCS)のご報告

第1回コミュニティスクールでは、はじめに自己紹介の後、校長より令和8年度の学校経営方針の説明、委員の委嘱等を行いました。

その後、第2部として、学校教職員参加の合同熟議「地域と共に育てる子供の幸せについて」では、様々な世代からの意見と、委員の皆様からもアドバイス等をいただきました。

### 第1回コミュニティ・スクール委員会

日時：令和8年5月22日(金) 14時00分～15時30分

場所：大谷口小学校 ランチルーム

- 内容：①校長挨拶 ②コミュニティ・スクール委員の自己紹介
- ③令和8年度 学校経営方針、学校経営計画の確認
  - ④学校行事予定、年間の学校支援活動について
  - ⑤熟議「地域と共に育てる子供の幸せについて」  
※教職員合同による熟議
  - ⑥事務連絡

### 次回の予告

第2回コミュニティスクール委員会は、令和8年9月10日(木) 10:00より、本校ランチルームで行います。

(文責 校長 宮澤竜太郎)

## 校長より

1 令和8年度の学校経営方針について

【目指す学校像】

- (1) 児童が、充実感を得られる学校
- (2) 児童が、安全・安心な生活が送れる学校
- (3) 児童が、郷土愛をもち、地域と共に育つ学校
- (4) 教職員が、笑顔で子供と向き合い、向上を目指す学校

## 委員長より

2 昨年度の学校評価の反省から

- ・学びのエリアの、教員の意義の捉えが低いことについて。評価の具体性を示せると良いのでは。エリアの共通テーマである「探究」を本校でどう具現化していくか、総合的な学習の時間の学習内容も今後検討が必要ではないか。

## 今回の熟議

### 「地域と共に育てる子供の幸せについて」

低中高の学年3分科会に分かれ、それぞれのグループに委員の皆様に加わっていただき、学校行事や各学年での取り組みなどで地域に協力してほしいことについてご意見をいただきました。

### 【熟議より】以下の2点について熟議をしました。

☆子供の幸せとは

★地域の強みや足りないことややれることは何か等

#### (低)

☆(子供の幸せ)話を聞いてもらえる環境、他人から認められ安心安全な居場所が保障されている環境。安心できる人がいて、愛情を注がれている環境。

★地域がよく見守ってくれている。親と子供が関わり、会話できているか。学校と地域との交流が活発になるとよい。

#### (中)

☆表情豊かであいさつのできる子。

★もっと人的支援が必要。外部とのつながりを子供にも経験させたい。成功体験が幸せにつながる。保護者を巻き込む。

#### (高)

☆成功体験が必要。地域とのかかわりで、できたことを周りから認められること。

★自信のない子や挑戦できない子がいる。自己肯定感が弱いと感じる。金管バンドクラブの支援や放課後学習教室など、地域の方をお願いしたいことがあるが、難しい面がある。だれでも良いわけでない。間口は広げたいが検討も必要と感じる。

## 「熟議」のおさらい！

熟議を重ねることで、学校の課題に対する理解を深めることができます。また、より多くの方々の意見を反映させながら、学校・家庭・地域の役割を明確にすることで具体的な支援活動等につなげることが期待できます。